

令和6年度 徳島市南部中学校 総括学校評価

		自 己 評 価				学校関係者の評価		次年度への課題と 今後の改善方策
重点課題	重点目標	活動計画	評価指標	評価	総合評価	学校関係者の意見		
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 目標に向かって主体的に挑戦する生徒をサポートする学校づくり 学校全体でポジティブな行動支援 PBS を推進 	<ul style="list-style-type: none"> PTA 総会や学校行事等での教育目標・教育方針の説明・周知と学年だより、掲示板、HP の活用 1人1台のタブレットを活用し、Metamoji や未来 Seeds 等を用いて、主体的に学ぶ態度の育成に努める 学校全体で PBS (ポジティブな行動支援:本年度研究指定を受けて活動) を推進、生徒会を中心に活動を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> 学校は教育目標や教育方針をわかりやすく伝えていると思う保護者が80%以上いる。 タブレット端末を有効に活用して、授業や家庭学習に取り組んでいる生徒が80%以上いる 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 評価を行う中でタブレットの有効な使い方を保護者にも提示することが必要。 個人にあった学習方法や生徒自身が選択して学習できる環境整備を進めてほしい。 調べ学習は生徒の学力につながっているのか、疑問を感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの使い方や使用方法。また、課題等について保護者にも周知し、家庭学習を充実させていく。 学力向上委員会でタブレットの使用方法について検討し、学校全体で使用方法や、課題について各教科系統立てていく。 	
				C				
教科指導 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ICT を積極的に活用し、生徒が学ぶ喜び、わかる喜びを味わえる授業の工夫 未来を見据え、失敗を恐れず挑戦し、粘り強く努力できる生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上委員会における学力向上実行プラン(めあてと振り返り)の充実 ICT の積極的な活用 相互参観授業やメンター制度を活用し、授業力の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が意欲を持って学習できるよう工夫して授業を進めていると感じている生徒が80%以上いる。 タブレット端末を有効に活用して、授業や家庭学習に取り組んでいる生徒が80%以上いる。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上委員会のあり方や持ち方について、現状で学力向上につながっているのか。 学習も時間をかけて覚えたり、定着させたりする場面が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度行った学力向上委員会での取り組みを継続し、反省点を踏まえて改善していく。 タブレットの使用方法について、家庭の理解を促進し、家庭と協働して学習に取り組む。 	
				C				
交通指導 生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 明るく元気な挨拶ができ礼儀正しさをもち、ボランティア活動にも積極的に取り組み、地域の人々とのつながりや関係性を高めることができる生徒の育成 「凡事徹底」当たり前のことを継続して目標に向かい一生懸命に取り組むことができる生徒の育成 交通ルールを守り、安全に行動ができる生徒の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会を中心に PBS を推進、各学年でマトリクスを作成 あいさつ、遅刻をしない、チャイム着席など基本的な生活習慣の定着を図る 生徒指導委員会を活用した校内体制の確立 計画的な安全教育への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 時間を守り、あいさつするなど、基本的な生活習慣を身につけていると思う保護者が80%以上いる。 登校するときは交通ルールを守っている生徒が90%以上いる。 教職員は生徒1人ひとりをよく見て、いじめなどの問題に対して適切な指導や助言を行っていると思う保護者が80%以上いる。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> いじめの認知件数はどのくらいあるのか。 年間を通して交通事故はどのくらい発生しているのか。 携帯安全教室の講師を、来年も是非篠原さんをお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> PBS の取り組みを継続して行うとともに、今年度の取り組みを検証し、次年度へつなげていく。 交通事故の多い4月に、PTA の生徒安全部を中心に交通立哨を行うなど、交通安全対策を行う。 	
				A				
				B				
環境美化 給食指導 保健指導	<ul style="list-style-type: none"> 自らの健康を守るための保健指導の徹底 自らの健康や地産地消を意識した、給食指導の徹底 環境美化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応訓練を充実させ、職員や生徒の危機意識の向上を図る 定期的に生活習慣アンケートを行う 給食指導計画の立案と給食だよりの発行、給食時間の指導 NVC (南部ボランティアクラブ) を中心に花壇の整備や、校内美化活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急対応訓練(避難訓練を含む)を年6回以上実施する。 毎日の清掃活動に取り組んでいる生徒が80%以上いる。 好き嫌いなく食べている生徒が80%以上いる。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校が美しく掃除が行き届いている。 給食は美味しくなってきたが、育ち盛りの中学生に対して、量を増やすことはできないのか。 肥満や痩身に対する対応はどのようにしているのか。 保健室の運用方法について。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭と養護教諭の取り組みとして、食育の授業を行うなど、食と健康について意識を高めていく取り組みを行う。 生活アンケートや健康チェックを継続し、生徒の健康を観察し指導を行う。 	
				A				
				B				
生徒会活動 キャリア教育 図書館教育	<ul style="list-style-type: none"> 南中生としての自覚と誇りを高め、よりよい学校をつくるための自主的・実践的な態度の育成 南中生としての自覚と誇りを高め、よりよい学校をつくるための自主的・実践的な態度の育成日頃の教育活動や体験的活動等を通じて、社会的自立に必要な態度や能力の育成 図書館の積極的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 図書だよりの定期的な発行と地域ボランティアによる図書室の開館 生徒会を中心にあいさつ運動や各学年のマトリクスを作成し、PBS を推進する キャリアパスポートを活用し、3年間を見通したキャリア教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間で本を10冊以上読んでいる生徒が70%以上いる。 生徒会活動や専門医委員会の活動に参加している生徒が80%以上いる。 将来の職業に関心を持っている生徒が80%以上いる。 	C	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が読みたいと思う本を買って欲しい。 子供目線の図書館にして欲しい。 職業として、学校の先生を目指す生徒を増やすためにも、小学校での職場体験を行ったらどうか。 今は、将来の職業に対する関心が無くても、様々な体験をさせることが大切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の整備について、ボランティアやスクールヘルパーの力も借りながら、生徒が足を運びやすい魅力のある図書館作りを行う。 次年度は職場体験学習を2年生で実施する。 	
				B				
				B				
特別支援教育 道徳教育 人権教育	<ul style="list-style-type: none"> 仲間を大切に、互いの考えや良いところを尊重し、勇気ある前向きな行動を認め合うことができる生徒の育成 個々のニーズに応じた援助・支援(教職員の共通理解と専門性の向上、UDIに基づく授業工夫) 自尊感情を高め、互いに支え合う生徒の育成(いじめをさせない、許さない学校づくりの推進) 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育を主題とした参観日を実施 人権講演会を実施 入学まえを含めて年間4~5回の教育相談を実施して、特別な支援を必要とする生徒のニーズに応じた支援に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ともだちの良さをみつけたり、友だちの気持ちを考えて話したりするように心がけている生徒が80%以上いる。 指導方法や学習教材を工夫して「わかる」授業に努めていると思う保護者が80%以上いる。 学校生活において安心して学校生活が送れていると思う保護者が80%以上いる。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 南部中の生徒は平均化している生徒が多い。しかし、外に出ると、様々な面で突出したパーソナリティーを持つ生徒がいる。そのような中で、自分をだせるために、様々な体験をさせて欲しい。 良い子を育てるだけでなく、力強い子を育てて欲しい。 自尊感情だけでなく、自己肯定感を高めていくことが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育については継続して行うとともに、外部からの講師を積極的に招聘し、意識の向上を図る。 PBS の取り組みを継続して行うとともに、今年度の取り組みを検証し、次年度へつなげていく。 	
				B				
				A				